

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 6 月 10 日

仕事の内容	スクールカウンセラー配置事業				
担当部署・課長名	指導室	課	指導	係	課長名 岡田 博史

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 学校教育の充実

(総合計画書 31 ページ)

予算名	款 10 教育費	項 1 教育総務費	目 3 教育指導費	事業 16 教育センター運営費
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 主に市立小・中学校に在籍する児童生徒及びその保護者			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 児童生徒数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 主に市立小・中学校に在籍する児童生徒及びその保護者に対する適切な助言を行うためには、心理療法士等の専門的な知識を有する人材が必須となっている。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 問題を抱える児童生徒及びその保護者への適切な助言
	③ そのために何をしましたか。 様々な問題を抱える児童生徒及びその保護者等の相談を受け、適切なカウンセリングを実施することで、問題解決を図る取組を行っている。また、担任や生活指導担当の教員の相談にも適切に対応している。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 相談件数

2 指標の推移		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標	
	対象指標	①の数値	人	6,640	6,609	6,571		
	成果指標	②の数値						
	目 標	②の目標値						
		目標値設定の考え方						
	活動指標	③の数値	円	15,066	16,332	14,813		

3 経費	事業費		円	7,738,925	7,069,685	8,660,171	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	7,738,925	7,069,685	8,660,171	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.02	0.02	0.02	
		所要人数(再任用)	人				
事業費+人件費		円	7,903,585	7,234,345	8,824,831		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 この事業は平成8年度から実施しており地域性を問わず、家庭や自身に問題を抱える児童生徒が増加傾向にあり、また、より深刻化する等、教育相談件数は増加している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成25年度から東京都公立学校スクールカウンセラーが全校配置となり、当該事業に対してなかなか応募者が現れない。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 多様化する問題を抱える児童生徒及びその保護者が増加し、かつ深刻化している現状では、教員だけでは適切な対応が困難であり、教育相談の充実は各方面から要請されている。
-------------	--

仕 事 の 内 容	スクールカウンセラー配置事業				
担当部署・課長名	指導室	課	指導	係	課長名 岡田 博史

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。				
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。			
	問題を抱える児童生徒及びその保護者は、年々増加傾向にあり、また深刻化する問題解決には、専門的な知識を有するスクールカウンセラーの配置は必須である。			
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	スクールカウンセラーを増やすことが急務。最近では、学校教育の分野を超え、福祉分野との連携が欠かせない。子育て支援担当、生活福祉担当や児童相談所等の外部機関との連携を強化するとともに、情報の共有化を図りながら問題を抱える児童生徒及びその保護者への支援体制の充実が必要である。			
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。			
	スクールカウンセラーの増員。関係機関との連携。			
(3) 改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成 果	成果を向上させる。		経 費	仕事の経費を増加させる。